

2018 事業案内

新たなる 創造への挑戦





経営理念

未来への心をつなぐパートナー “農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。
くらしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。
私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、
誠実・確実に果たしてまいります。

- 一. ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。
- 一. 創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。
- 一. 豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。
- 一. 地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。

JAふくしま未来の概要

- 名 称 ■ ふくしま未来農業協同組合
- 代 表 者 ■ 代表理事組合長 菅野 孝志
- 所 在 地 ■ 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
- 設 立 ■ 平成28年3月1日
- 管 轄 地 ■ 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市、
伊達郡川俣町、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、
相馬郡新地町、安達郡大玉村、相馬郡飯館村 の12市町村
- 出 資 金 ■ 159億3千万円
- 組 合 員 ■ 94,860人 (94,107人、753団体)
うち正組合員 46,132人、153団体
准組合員 47,975人、600団体
- 役 員 ■ 理事55人、監事8人
- 職 員 数 ■ 1,885人
- 事 業 量 ■ 貯金残高……………7,156億円
貸出金残高……………1,596億円
長期共済保有高……………26,786億円
販売品販売高……………281億円
購買品供給高……………165億円
(数値はH29年度実績)
- 事業所数 ■ 支店数 65 出張所 3
その他事業所数 54

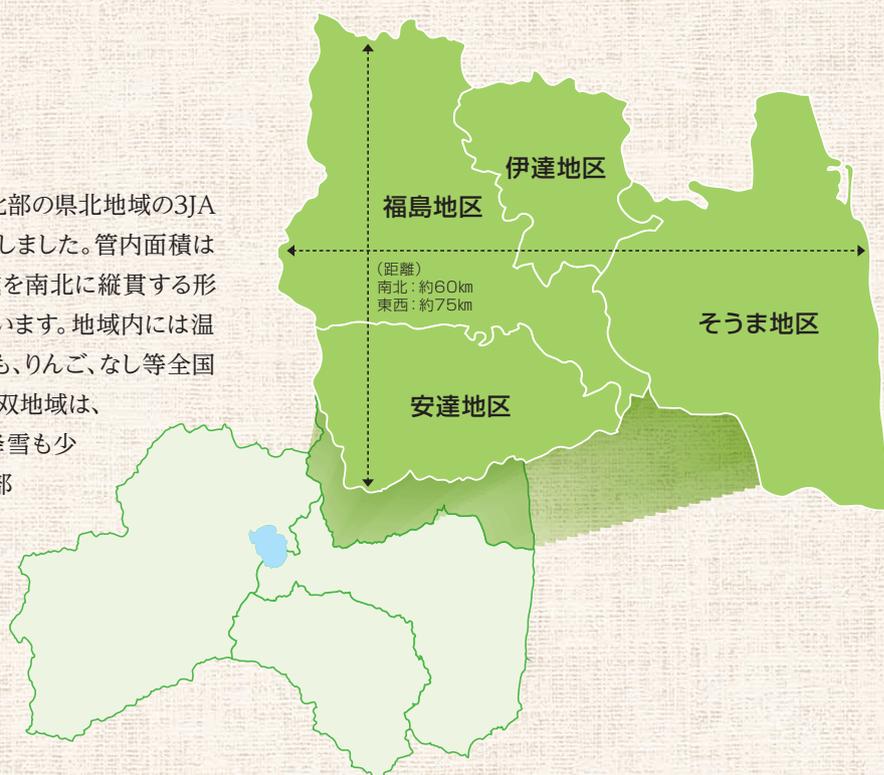


ロゴマーク

「ふくしま(FUKUSHIMA)」と「未来(FUTURE)」のFをモチーフにシンボルカラー(みらいろ)を基調とし地域の農産物が実っている姿、大きく羽ばたく未来をイメージしています。
横のマークは、人と人、地域をつなぐ“輪・和”をイメージ、JAふくしま未来が大きく未来に向かって広がっていく姿を現しています。

管内の概要

JAふくしま未来は、福島県北東に位置し、中通り北部の県北地域の3JAと浜通り北部の相双地域の1JAが合併して誕生しました。管内面積は福島県全体の19%ほどで、県北地方は中心地域を南北に縦貫する形で阿武隈川が流れ、その流域に盆地が広がっています。地域内には温泉をはじめ、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹地帯を形成しています。海に面した相双地域は、太平洋と阿武隈高地に囲まれて気候は温暖で降雪も少なく、快適な居住環境で、平坦部では水稻、山間部では畜産が盛んです。その他全域において、数多くの園芸品目が生産されています。



主な事業内容の紹介

営農指導事業

農家を対象に栽培技術や販売に関する指導を行ったり、農家からの営農相談にのったりします。

さらに、農家の担い手や農業法人などを育成することも大切な役割です。

指導事業は、JAが取り組む様々な事業を有機的に結びつけ、事業を利用する方々の満足度を高めるための土台となっています。



販売事業

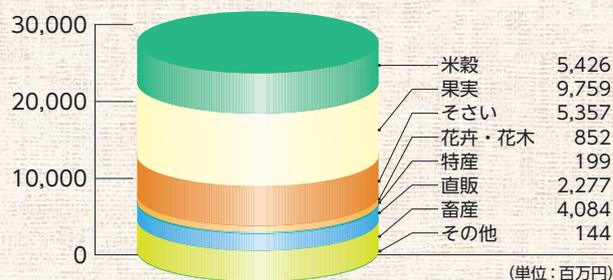
農家の皆さんが生産した農畜産物を集めて、卸売市場や量販店などに出荷・販売します。

どう有利に販売するかは、組合員の所得を高めることのために、JAの最も重要な仕事です。



販売品取扱総額

28,102 百万円



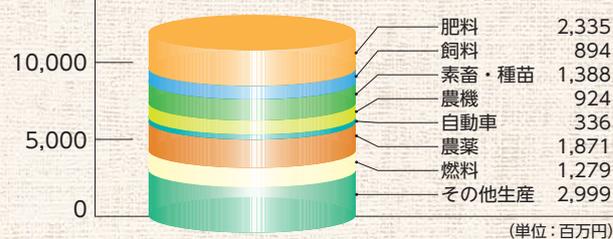
購買事業

組合員等に肥料、農機具、飼料等の生産資材や生活資材をできるだけ安く、良質なものを安定的に供給しています。



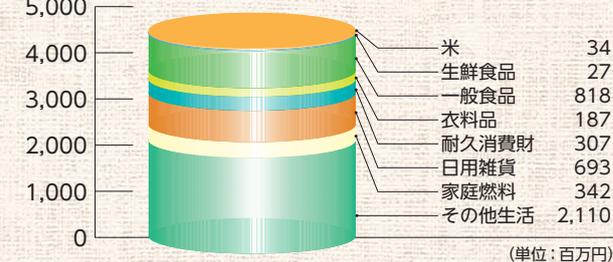
生産資材

12,030 百万円



生活資材

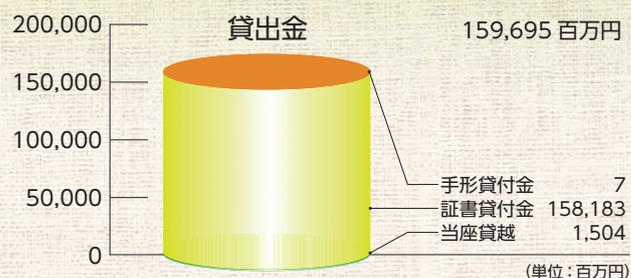
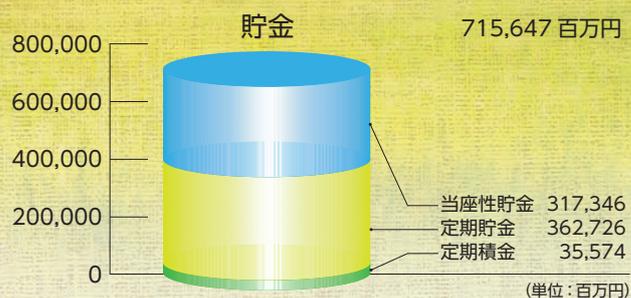
4,521 百万円



信用事業

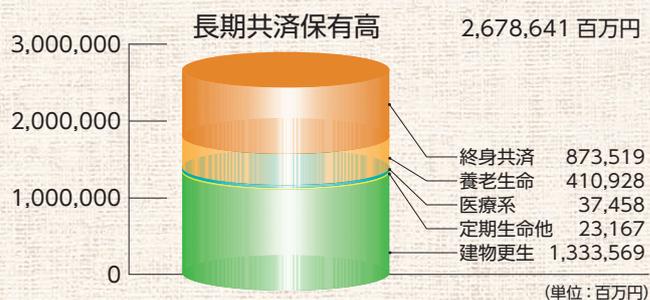
組合員の皆さまなどからお金を預かり、それを農業振興や生活向上に必要な資金として融資しています。

JAの信用事業は「JAバンク」として全国のJAと手を携えた「JAバンクシステム」により安全に事業を行っています。



共済事業

JA共済は、生命保障と損害保障の2つの機能を兼ね備え、相互扶助を事業理念とし、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供し、組合員の生活を守っています。



JAと地域をつなぐ活動

MA (マネー・アドバイザー)

貯金・年金・融資など金融商品に関する専門知識を持ち、地域の方々のお役に立つよう、日々訪問活動を行っています。

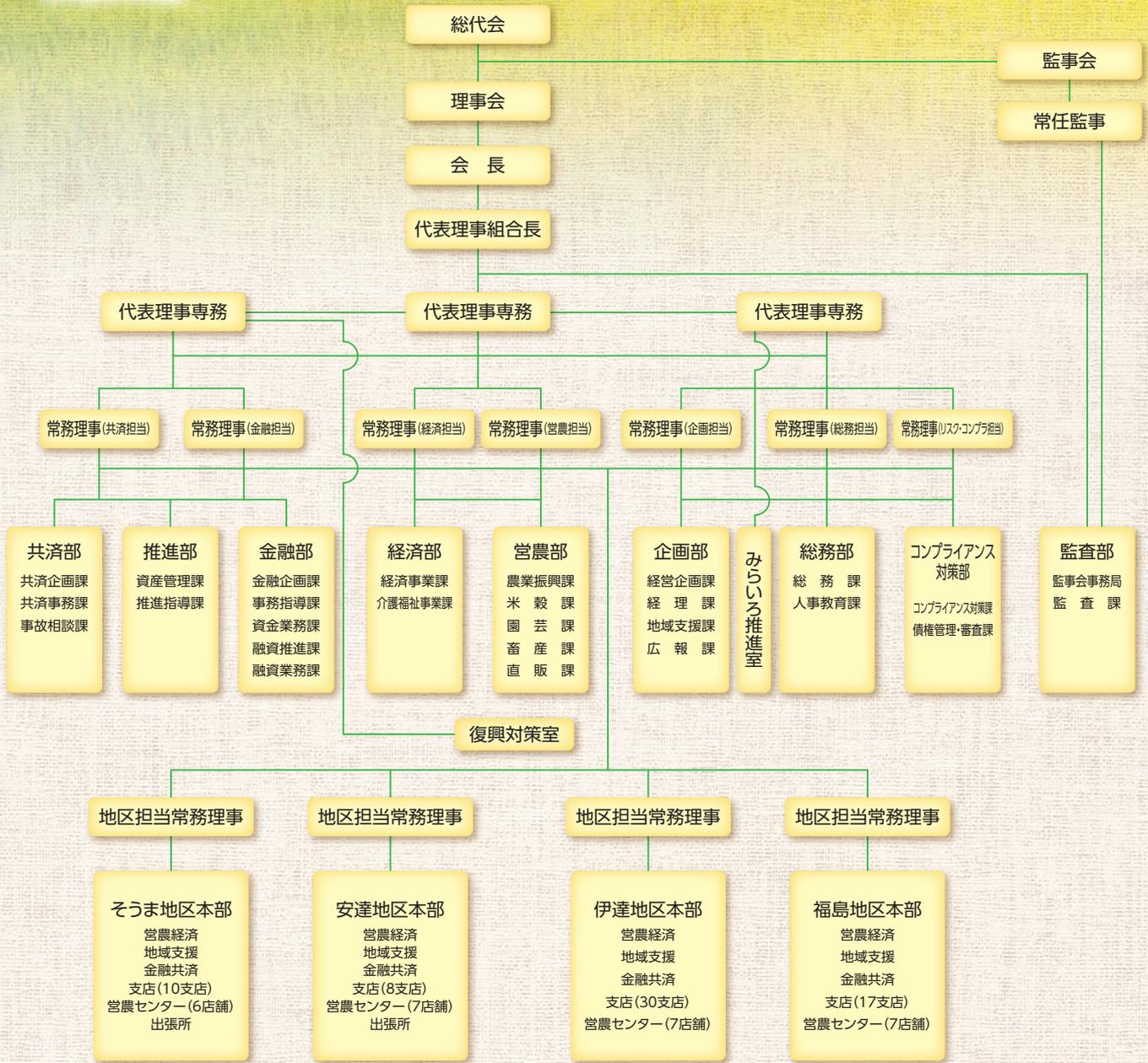


LA (ライフ・アドバイザー)

JA共済について専門知識を持ち、年間を通してライフプランの相談を行っています。



組織機構図
(平成30年5月)



- 子会社 ●ジェイエイ新ふくしま燃料(株) ●(株)ジェイエイ新ふくしまライフ ●(株)新ふくしまファーム ●みらいアグリサービス(株)
 ●JAみちのく安達燃料(株) ●(株)共同施設 ●(株)マックスサービスそうま ●(株)アグリサービスそうま
- 子法人 ●社会福祉法人ジェイエイ新ふくしま福祉会アグリホーム

JAふくしま未来の取り組み

当JAは「**地域農業戦略**」・「**地域・暮らし戦略**」・「**経営基盤戦略**」を基本方針とするとともに、
「**農業所得10%アップへの挑戦**」を掲げ「**みらいろテン!運動**」を
最重要事項として取り組んでいます。



1 地域農業戦略



2 地域・暮らし戦略



3 経営基盤戦略



4 職場づくり・人づくり



1 地域農業戦略



農業所得の増大

農業所得 **10%**アップへの挑戦(農業生産力・農業所得拡大対策)

「みらいろテン！」運動

当JAでは、生産者の所得増大・農業生産の拡大・活力ある地域づくりの実現に向けて、「みらいろテン！」運動に取り組んでいます。「みらいろテン！」運動とは、農産物の販売単価を**2%**高くする取り組みと、生産コストをこれまでより**5%**下げる取り組みを行うことで、生産者の所得の**10%**増加を目指そうとするものです。

販売単価**2%**アップと 生産コスト**5%**ダウンで 農業所得**10%**アップ

「みらいろテン！ 2・5・10運動」

農業所得 10%UPへの挑戦

部会自らの目標設定

「収量アップ」「品質アップ」



●担い手渉外 (TAC) ●営農指導員巡回 ●「農の達人(作物営農技術員)」16名委嘱

販売単価アップ

販売単価を上げるために取り組んでいることは大きく**2つ**
【販売戦略強化】
当JAでは委託販売による不安定さを解消するための販売戦略として、量販店や学校給食、レストランなどへの販路を拡大しました。

【販売促進活動】
各地区の直売所での統一イベントや全国各地でのトップセールスや各地区の農産物販売チーム(SPL(スマイルプレゼンレディ)・ベジフルコーディネーター・AAA(tripleA)・チームMIRAI(そうま)によるPR活動を行っています。

生産コスト削減

生産コスト削減のための取り組みは**3つ**
【オリジナル肥料開発】
果樹専用肥料7品目・そさい専用肥料2品目・水稻専用肥料を5品目の計14品目を「みらいろシリーズ」として開発しました。
【肥料・農薬の価格改定】
予約価格の地域最安値を目指し、肥料21品目・農薬23品目で平均5%の値下げを実現しました。
【出荷資材の統一】
もも・あんぼ柿などの5品目でデザインを統一したダンボールを作りました。

農業生産の拡大

農業生産拡大に向けての取り組みは**3つ**

「農業振興支援事業」

農業資材や苗の購入、病害虫防除対策への助成を、全地区で65事業、89種目に対して行いました。

「集落営農や法人との連携強化」

集落営農や法人に対する巡回訪問を積極的に行い、取引拡大や情報共有を行い利用拡大に努めました。

「新規就農支援」

各地区本部に新規就農担当者を設置。



出向く農業支援体制

各地区に営農指導員、担い手渉外(TAC)を配置、組合員の経営規模に応じた営農指導・経営指導を目指し、重点・モデル農家を設定し、定期巡回を強化しています。



「農の達人」

平成29年度より、各地区の中核農家16名を「農の達人」として委嘱。その時期の作業における技術を指導し、生産者の技術向上を目指します。

JGAPの取得促進

現在、6部会116名で今年度JGAPの取得を目指しています。今後、畜産、直売所のFGAPを推進します。



6次化商品の開発・販売

地元農産物を利用・加工したJAオリジナル6次化商品の開発・販売を強化しています。



各市町村「地域見守り活動」協定締結



当JAは地域住民が安心して暮らせる地域社会を目指し、管内12市町村(福島市、川俣町、伊達市、桑折町、国見町、二本松市、本宮市、大玉村、新地町、相馬市、南相馬市、飯舘村)と連携して、高齢者や障がい者、子どもなどの日常生活を見守る「地域見守り活動」に全職員で取り組みます。

地域に優しい店舗づくり(全国初導入)

管内の基幹となる27支店の窓口にて、難聴者向けスピーカーCOMUOON(コミュニケーション)を設置しました。コミュニケーションは、話し手の声を拾い、難聴者が聞き取りづらい高音域や子音を明瞭にすることで、利用者との対話をスムーズに行うことができます。



情報提供活動

- 広報誌「みらいろ」の発行
毎月発行する組合員向け広報誌。平成30年3月にリニューアルして、「読みやすさ」と「楽しさ」を追求し情報をお届けしています。
- コミュニティ誌「ぐ〜がる」の発行
年4回発行の地域住民向けコミュニティ誌。生産者と消費者、地域とJA、旬と食を「つなぐつながる…」そんな思いで旬な情報をお届けしています。
- 支店だより発行
JAと組合員・地域住民との関係強化を目的に、各エリアや支店・営農センター単位で毎月発行している手書きの広報誌です。
- ホームページによる情報発信



利用者ネットワークへの取り組み

- みらいろ女子会設立
農業に関わる女性、食や農に関心のある女性、地元企業が交流できる場づくりを通して、農業振興や活力ある地域づくりを目指すJAの新たな取り組みです。平成29年3月からインターネットの会員制交流サイトを設立し、そこでの会員同士の情報交換をもとに活動内容を定めています。



3

経営基盤戦略



米之助

多様化する組合員ニーズに対応した組合員組織や支店の活性化により、組合員の意思反映・運営参画をすすめて、より多くの組合員の積極的な参加を図っています。また、スケールメリットの追求と事業コストの低減に努めています。

組合員の意思反映

- 総代会
- 本店運営委員会
- 地区本部運営委員会
- 集落座談会
- 専門部会



子会社再編

(生産系子会社の統合・生活系子会社の統合準備)

JAふくしま未来グループとして、全体最適化をめざし、経営基盤の強化、専門性の追求、環境変化への適合のため、合併JAに対応した生産系(燃料・農機・自動車等)子会社事業を再編します。

なお、生活系(葬祭等)子会社事業も再編・合併を進めています。

ジェイエイ
新ふくしま燃料(株)

(株) マックスサービス
そうま

(株) ふくしま未来サービス

平成30年9月営業開始

JAみちのく安達
燃料(株)

JAふくしま未来

伊達地区燃料、ガス、農機具、
自動車、リフォーム等事業
安達地区農機具等事業

テレビ会議システムの導入

経営管理の統一・高度化を目指し、事務統一の徹底による事務リスクの軽減やテレビ会議システムを導入し大規模化・広域化に対応しました。



食と農を基軸として地域に根差した組合として、利用者・消費者の視点で、地域住民からも、「地域に必要な存在」として評価を得ること。

地域住民との接点を活かしたりレシーションを高めるとともに、事業利用拡大を通じ、総合事業体であることの理解を促進していくこと。

協同組合活動への理解を通じ、利用者・消費者の視点で、当JAのアクティブメンバーとなってもらえるような取り組みを行っていくこと。

「直売所を基軸としたポイント制度」を導入

みらいろポイントカード

当JAは平成30年3月より新たなポイントサービスとして、「みらいろポイントカード」をスタート致しました。

みらいろポイントカードは、当JA管内の農産物直売所でのお買い物でポイントを「ためる」、JA各種事業のご利用でポイントを「増やす」、貯まったポイントを「つかう」、お得なサービスです。

- 「ためる」… 各直売所でのお買い物200円につき1ポイント貯まります。
- 「増やす」… JA利用による会員ランク制度
(シルバー会員ポイント2倍・ゴールド会員ポイント3倍・プラチナ会員ポイント4倍)
- 「つかう」… 200ポイントでお買物券を発行



JA利用による会員ランク制度

※ランクアップできるJAふくしま未来の事業

- ★出資金 ★共済契約
- ★給振もしくは年金
- ★定期貯金(50万円～)
- ★JAカード決済
- ★ローン(カードローン除く)

★★…シルバー会員(★:2~3つ) ★★★★★…ゴールド会員(★:4つ) ★★★★★★…プラチナ会員(★:5つ以上)



地産地消応援サポーター



地域住民との結びつきをより深くしていくために、直売所だけではなく、地元密着型の企業や商店・飲食店など、さまざまな業態との連携を通じ、地域活性化を図っていく。

- 安心・安全な農産物の提供に対する応援
- 地産地消の賛同
- JAとともに地域活性化に向けた連携

※「みらいろポイントカード」協力店制度とは「地産地消応援サポーター」となっていたいただいた地元企業や店舗等で、会員証を提示することにより様々な割引や無料サービスの提供を受けることができる制度です。

4

職場づくり・人づくり



職員意識の統一と資質向上に向けたマネジメント、ガバナンス、教育活動を展開し全員が統一して事業に邁進できる体制強化を展開しています。

職員アカデミー開講

次世代リーダーの育成を目指した「職員アカデミー」を開講しました。
全4回のカリキュラムを経て25人が修了しました。



みらいロード推進プロジェクト

JAふくしま未来の働き方改善取組み

1. ノー残業デーの実施!
◎毎週水曜日はノー残業デー 17時30分には帰りましょう!
☆部署によってノー残業デーの曜日設定もOKだよ!

2. 休暇カレンダーの使用で 休日の見える化を図ろう!
◎振替休暇取得向上のため時間単位での取得もOK!
◎有給休暇は計画的に取得してリフレッシュしよう!

3. 最終退勤時間! はやく帰ろう!
◎最終退勤時間は遅くとも20時
楽しく早く計画的に仕事をしよう!

4. 終礼の実施 ◎業務終了後に一日の出来事と業務の確認・情報の共有化を図ろう!
(早く帰れるような雰囲気づくりも大事だよ)

5. 業務ミーティングの実施
◎部署内連携(部署内でのミニ勉強会でスキルアップ!)

JAふくしま未来

JAふくしま未来働き方改善取組み

- ノー残業デーの実施
毎週各部署・各支店によって曜日を指定し、17時30分に帰宅できるように努めています。
- 終礼の実施
業務終了後に一日の業務の確認などをし、情報共有に努めています。
- 業務ミーティングの実施
部内・課内でのミニ勉強会でのスキルアップを目指しています。
- 時差出勤制(業務ローテーション)の試行実施
勤務間インターバル制を基本として健康管理面に配慮した働き方の検討
事業所事業に応じた所属長裁量労働制による柔軟な勤務体系の試行実施

JA内職員交流研修

他所属での実務研修を通して、業務手法の改善や事務の統一を図り、多様な組合員や利用者に対応できる職員の育成を目指しています。

職員会の設立

職員相互の親睦と融和を図り、職員の資質の向上・健康で明るい職場づくりの実現を目的に設立

CDP制度

職員のキャリア形成のため、自らの将来を設計します。資格取得についてもポイント化し、それを手当として反映し取得の促進を図っています。

メンター制度

新入職員の個々に相談役として先輩職員らを設定し、業務だけではなく様々な相談をできる環境を作り、新入職員の業務定着を図っています。

全職員意向調査

年に1回、全職員に対し、職務の適性や人事異動の希望、職場での悩み等を書面で収集し、今後の施策への参考としています。

コンプライアンス遵守に向けて

当JAでは、コンプライアンス遵守に向けて「コンプライアンス・マニュアル」を作成し全職員に配布しました。コンプライアンス態勢の強化に向けた取り組みを実践しています。



共通取組事項

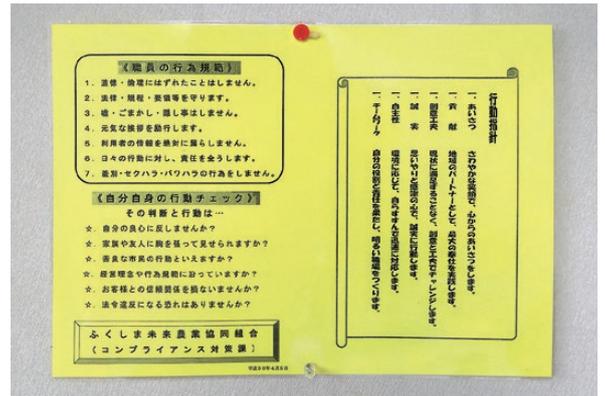
- (1) ヘルプライン制度の周知と効果的活用
- (2) 全職員による自主検査の実施(年2回)
- (3) 個人情報の適正な管理の徹底と個人情報台帳整備(年1回)

コンプライアンス研修会の実施

- (1) 地区別所属長研修会(上期・下期)
- (2) 全体職員研修会におけるJA事例での周知(上期・下期)
- (3) 役員研修会(上期)
- (4) 「管理・監督事務リスク管理研修会」の開催(上期)

職場内の周知徹底

- (1) 経営理念の4つのスローガン及び職員の行為規範の職場内掲示
 ※経営理念を会議等開催の都度次第に記載し唱和を実践
 ※社会的行動及び自分自身の行動チェック
- (2) 職場内コンプライアンス研修会の実施(毎月)
- (3) コンプライアンス担当者による朝礼・終礼時における周知徹底



連続職場離脱の実施

当JAでは、「事務リスク管理規定」に基づき、連続職場離脱を実施しています。

みらいろードカード

JAふくしま未来の経営理念実現に向けて役職員一人ひとりが自らの行動を考え、判断するための指針

Credo card
みらいろードカード
 (ふくしま未来の歩む道)

「みらいろード(歩む道)」はJAふくしま未来の経営理念「未来への 心をつなぐ パートナー」の実現に向けて役職員一人ひとりが自らの行動を考え、判断するための指針であり、全役職員が共有すべき価値観や手法を示したものです。
 「みらいろード」の内容を全役職員が十分に理解・共有し、日々の業務で実践していきます。

「みらいろード」
 経営理念を実現するための方向性・歩む道
 組合員・地域・役職員の良い循環
 実業・実践し続けるためのしめしとして(CS-ES)を見える化する

経営理念
 行動指針
 4つの満足
「満足度向上宣言」

経営理念
未来への心をつなぐ パートナー
“農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。
 くらしの豊かさや安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなごう。
 私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、誠実・確実に果たしてまいります。

4S満足度向上
 統一スローガン
「農と地域の元気発進隊になる」

組合員・利用者に見られる
 組合員・お客様満足(CS)
 常にお客様第一、常に満足を提供!

職員は期待に応える
 職員・職場満足(ES)
 生きがい・働きがいの追及、ESなくしてCSなし!

利用・事業量が
 増える
 経営満足(MS)
 社会の信頼が得られる
 安定的健全経営!

健全経営が
 ほかれる
 地域満足(SS)
 地域活性化・豊かな住み良い地域づくり
「地域活性化・教育・文化活動」
 (農の応援団づくり)

組織が職員を大切に

一、ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなごう。
 一、創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなごう。
 一、豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなごう。
 一、地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなごう。

行動指針

1. あいさつ
さわやかな笑顔で、心からのあいさつをします。
2. 貢献
地域のパートナーとして、最大の奉仕を実践します。
3. 創意工夫
現状に満足することなく、創意と工夫でチャレンジします。
4. 誠実
思いやりと感謝の心で、誠実に行動します。
5. 自主性
環境に応じて、自らすすんで迅速に対応します。
6. チームワーク
自分の役割と責任を果たし、明るい職場をつくります。

JAふくしま未来

創造的自己改革 実践中!!

